

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズウィルplus		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月7日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・様々な活動内容を提供し、家庭では取り組みにくい事なども経験できる点	・楽しみながら活動することで、発達が進められるということをも目的として内容を考えていく事を徹底して行っている	・季節感などにも触れることをさらに意識していくこと ・子どもたちの希望や特性に応じた内容も取り入れていく
2	・毎月、活動内容について情報提供している中で活動目的や、変化、様子などを伝えている点	・活動の目的として、どのような感覚刺激が得られているのか?などの情報を提供し、そこから何に繋がるのか?という点についてお知らせをするように心がけている	・書面のみでは伝わりにくい点もあるので、参観やイベントなどを通して、実際に保護者様の参加・見学を通して、活動の意義をお伝えする機会を設定していく
3	・個々の特性に応じた内容を提供していける事	・個々に応じたものを提供しつつ、少しチャレンジをして取り組むことや小集団での活動が苦手な子に対しては、一部での参加をすることから始められる仕組みを提供している点	・自身の役割などが認識しやすい環境設定となる仕組みづくり ・苦手であるが、やってみようと感じられるように、スタッフ間での情報共有と統一感のある声かけなどに注意していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族支援プログラム、研修の機会が少ない	・情報を提供する場面はあるが、自事業所内での実施ではない点から、参加が難しいこともあるよう	・どのような情報を必要としているのか、課題となっている点の把握、提供を実施する機会を設ける
2	・家族支援、移行支援についての機会が少ない	・社会参加という場面となる状況にないことから、情報として提供する機会が少ない	・就労、進学という場面ごとに、必要に応じた情報の提供を行えるように、準備をする ・就労移行、選択などの他施設への訪問、情報収集を行う
3	・情報の発信が不十分と感じられている点	・避難訓練や防災について実施しているが、情報の提示が月に一回の活動内容のペーパー状の通信となっているので、見落としや該当していないと感じられている面もある	・定期的に情報を発信する手段を、紙面以外にも活用していくように仕組みを変えていくようにする